

土浦農業協同組合 佐野治組合長インタビュー

かすみがうら市と土浦市をカバーするJA土浦と、つくば市をカバーする二つのJAが合併に向け動き出した。最終合意は来年になりそうだが、3農協合併が実現すると、県南3市にまたがる単位農協が誕生する。行政による土浦市とつくば市の合併話(かすみがうら市もという話もあった)は、小休止状態になっているが、農協広域合併は行政のそれに先行しそうだ。農協(経営)と自治体(行政)では危機感が違うと言ったことか。

(インタビューは経済ジャーナリスト・坂本栄)

新本店はスリムに

4月、JA土浦のことが了承された。今総代会でJAつくば、後の段取りは。JA谷田部との合併に、【佐野】春の総代会向け話し合いを進めるに、つくば市の2農協承を取り付けたから、

この合併について提案、その方向でよいという事になった。相手の2農協も同じこと

【佐野】事前に話し合えることは今年度内、に済ませたい。合併協

【佐野】事前には話し合えることは今年度内、に済ませたい。合併協

県南の3農協、広域合併へ

土浦・つくば、行政に先行

県内6農協が目標

1は。つくば市の2農協承を取り付けたから、

【佐野】JA土浦は土浦市とかすみがうら市の全部。JAつくばは、豊里、大穂、筑波の組合が合併してできたものだが、その際、谷田部農協は入らなかつた。それで、つくば市には農協が二つある。JAつくばとJA谷田部でつくば全域をカバーしており、3農協が合併すると、かすみがうら、土浦、つくばの3市にまたがる広域農協になる。

【佐野】4月時点で土浦市とかすみがうら市の全部。JAつくばは、豊里、大穂、筑波の組合が合併してできたものだが、その際、谷田部農協は入らなかつた。それで、つくば市には農協が二つある。JAつくばとJA谷田部でつくば全域をカバーしており、3農協が合併すると、かすみがうら、土浦、つくばの3市にまたがる広域農協になる。

【佐野】私論だが、人口40万市(かすみ)が、このころ4万土浦14万つくば22万の農協だ

【佐野】私論だが、人口40万市(かすみ)が、このころ4万土浦14万つくば22万の農協だ

【佐野】私論だが、人口40万市(かすみ)が、このころ4万土浦14万つくば22万の農協だ



佐野 治(さの・おさむ)氏：1970年、日大理工学部卒。外資系無線機会社を経て、1977年、土浦農業協同組合(JA土浦)入り。常務理事などを経て、2008年から組合長(代表理事長)。土浦市観光協会副会長、土浦市・かすみがうら市農作物被害防止対策協議会会長。68歳、土浦市穴塚出身。

鹿行は各一つ、県南には、JA竜ヶ崎(牛三つに集約するという考え。県南は、石岡地区(現在はJA新ひたち市)、JA茨城みなみ(取手、ち野とJAやさとの二つ)、土浦・学園地区(現在三つ)、それか美浦)と、JAが四つ江竜地区。この地区

【佐野】県北、県西、

【佐野】県北、県西、

【佐野】県北、県西、

【佐野】県北、県西、

TPP・農協改革

【佐野】(農業貿易の自由化も目指す)TPP(環太平洋経済連携協定)、(戦後農業システムの解体を目指す)農協改革を控え、単位農協としては足腰を鍛え、経営基盤を強化しなければならぬ。

【佐野】(農業貿易の自由化も目指す)TPP(環太平洋経済連携協定)、(戦後農業システムの解体を目指す)農協改革を控え、単位農協としては足腰を鍛え、経営基盤を強化しなければならぬ。

【佐野】(農業貿易の自由化も目指す)TPP(環太平洋経済連携協定)、(戦後農業システムの解体を目指す)農協改革を控え、単位農協としては足腰を鍛え、経営基盤を強化しなければならぬ。

皆さんの声をお寄せ下さい

常陽新聞は皆さんの声を募集しています

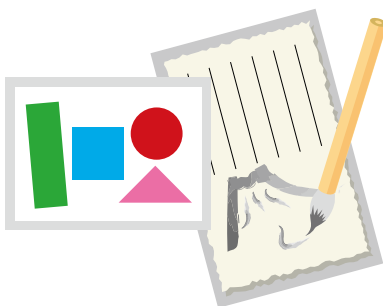
日ごろ思っていること、考えていること、紙面に対する意見や感想など何でも結構です。寄せられました声は「読者の声」(仮称)コーナーで随時紹介いたします。



作品を募集しています

常陽新聞は読者の作品を募集しています

俳句や短歌、川柳、写真、絵画などをお寄せ下さい。グループの応募でも個人でも結構です。お寄せいただきました作品は「読者の広場」コーナーで随時掲載いたします。



常陽新聞

TEL.029-869-9800

宛て先 送付方法は、メール、郵送、ファクス、公式サイト「読者の声」コーナーのいずれでも結構です。

E-mail:toukou@joyonews.jp FAX.029-869-9836

〒305-0031 つくば市吾妻3-10-13 常陽新聞株式会社 読者の声係または読者の広場係